

## (南知多町)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 5校、中学校 2校、特別支援学校0校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		0人
		地域学校協働活動推進員		4人
		統括コーディネーター		0人
		地域コーディネーター		0人
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小 0校	中 1校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 0校	中 1校	



南知多町では、令和5年4月に開校した南知多中学校にコミュニティ・スクールが導入されている。統合前の4中学校区から、それぞれ委員（4名）およびコーディネーター（4名）を選任し、第1期（R5～R7）の活動を進めてきた。コミュニティ・スクールにおいて最も力を入れているのは、中学校が取り組む地域探究学習の支援である。

### (活動の実際)

<『南知多探究学習』の支援>

(目的)

- ・町の将来を担う子供たちを、学校と地域で育てるという共通の目標のもと、地域の大人が生徒に寄り添って問題解決の支援をするとともに、地域が抱える課題の解決に生徒が主体的に関われるよう、地域の大人が生徒の参画等を促す。

(活動内容)

- ・生き方講話（1年生）の講師。 ※地元の職業人や地域貢献に携わる方の話を聞き、自らの生き方について考える活動。
- ・企業探究プログラム学習（2年生）における、中間発表や最終発表の予選会への参加および最終発表会の審査・講評。
- ・南知多探究学習（3年生）における、訪問先の幹旋、体験活動の受け入れ、南知多クリエイティブミーティングへの参加。
- ・課題の実現に向けて企画を立ち上げ、地域で実行に移そうとする生徒（グループ）への活動支援。  
※教育課程外（町産業まつりでのブース出店など）

(活動で意識していること)

- ・地域の大人が中学生の課題解決にとことん寄り添えるよう、コーディネーターが地域住民や団体等に橋渡しをするとともに、課題の内容に応じて自ら支援にあたる。
- ・中学生がコーディネーターをはじめとする地域の大人との関わりの中で、自ら声を上げれば実現できるかもという期待感をもたせる。

### (◎成果と●課題)

- ◎探究学習での訪問先や講師を紹介してくれたおかげで、教員の負担軽減につながった。
- ◎生徒を地域の創り手と見なし、地域全体で子供たちを育てようとする意識が高まっている。
- コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の理念が分かりづらいという声があるため、効果的な周知を図っていく必要がある。

### (関係者の声)

- ・より多くの地域住民に学校の教育活動を支えてもらえるよう、地域ボランティアを効果的に募る体制づくりに力を入れたい。(委員)
- ・地域のことが分かる強みを生かして、生徒の学習活動を支えることはもちろん、先生方にも地域をより深く知ってもらふ役割も果たしていきたい。(コーディネーター)
- ・意欲のある中学生に地域の活動メンバーとして参画してもらふことで、地域の未来を担う人材を育ていきたい。(地域住民)
- ・生徒が壁にぶつかったときに、コーディネーターにつなげることが手立ての1つと考えるようになった。(教員)
- ・調べる方法や訪問するといいい所をコーディネーターの方に教えてもらうことで、テーマにふさわしい活動にすることができた。(生徒)